

令和6年度第1回  
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会  
議事要旨

- 1 日時 令和6年6月26日（水）午後3時～
- 2 場所 大阪市役所7階 第4委員会室
- 3 出席委員 （会場出席）浅田委員長、青木委員、海崎委員、中島委員、  
榎山委員、水谷委員
- 4 議事概要
  - （1） 委員長及び委員長代理の選任について
    - ・ 大阪府市公立大学法人大阪評価委員会共同設置規約第8条第2項の規定に基づき、委員の互選により、浅田委員が委員長に選任された。
    - ・ 浅田委員長は、委員長代理として水谷委員を指名した。
  - （2） 公立大学法人大阪第1期中期目標の期間の終了時の検討について
    - ・ 設立団体から資料2－1に基づき、公立大学法人大阪第1期中期目標の期間の終了時の検討について説明があった。
    - ・ 設立団体から説明があった内容について、評価委員会において、了承された。
  - （3） 公立大学法人大阪第2期中期目標（案）について
    - ・ 設立団体から資料3－1から資料3－4に基づき、公立大学法人大阪に係る第2期中期目標（案）について説明があった。

＜主な意見＞

○ 大阪公立大学の目標に係る審議

・ 第2 教育研究等の質の向上に関する目標

6 大阪公立大学工業高等専門学校に関する目標～創造力を備え社会に貢献する実践的技術者の育成～

（1）大学との連携強化による取組等

（委員）高専と大学が一緒になってシナジー効果が出そうなところ、目標本文がありきたりになってしまっていて、もったいない印象。高専のいいところを大学と一体化することによって、もっと良くしていくことが高専としてもすごく意味がある。そういう面で高専に期待することをもう少し書けるのではないかな。

（大阪府・大阪市）高専との連携に関しては、府大と市大が統合する際に、高専と同じ法人であるにも関わらず府立大学の頃から高専との連携がしっかり進んでいないという課題を認識していたところ。

新大学・大阪公立大学になるにあたりキャンパスを再編する中で、中百舌鳥キャンパスの敷地の中に、高専が移転する。具体的な連携に関しては、我々としても非常に期待を持っている。その中でキャンパスを同じくすることによって具体的な取組を高度化していただければと思っているところ。我々としても、非常にこの点に関しては強みの一つという認識を持っている。

#### ○ 法人運営に関する目標に係る審議

##### ・第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

###### 2 人事・組織

（委員）女性の活躍やダイバーシティのためには、柔軟な働き方の実現が重要で、そのためにはデジタル技術の活用など、DXが必要。

全体を通じて「柔軟な働き方」といったキーワードが見当たらないが、記載してはどうか。ご検討いただきたい。また、その際、病院でも働き方改革が推進されて、法人全体として病院も取り残されないよう、ご検討いただきたい。

（大阪府・大阪市）検討させていただく。

##### ・第6 その他業務運営に関する重要目標

###### 1 リスクマネジメント

（委員）第1期中期目標では、「人権尊重及びコンプライアンス」の項目があったが、第2期中期目標ではこの項目がなくなっている。重要な項目だと思うが、これを外して良いか。

人権尊重については、言葉が変わった形で内容的には入っているが、コンプライアンスは抜いてはいけないと思う。ガバナンス、コンプライアンス、リスクマネジメントの3つが関わって全体として組織が正常になると思う。コンプライアンスが強く求められている今の時代に、明示されていないのは良くないと思う。ご検討いただきたい。

（大阪府・大阪市）表現を含めて検討させていただく。

以上